

十一月二十五日「ラングーン」攻撃手

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

敵状

獨立飛行第七十中隊偵察結果ニ基ク十一月二十二日ニ於ケル  
ビルマ敵航空状況左ノ如シ

17.20 # トシゴ  
中型十一

17.00 # ラングーン  
大型三  
中型二六  
小型三

16.20 # モールメン  
ナシ

17.35 # イエ  
ナシ

11.30 # イエ  
小型六

11.35 # タン  
小型二

# メルギー  
大型一

2191

敵ハ小型機ヲ國境ニ前進セシメ我偵察機ニ對シ「ゲリラ」戰ヲ  
 實施スルト共ニ我ガ企圖ノ察知ニ努メツ、アルモノノ如シ  
 又ニ土日以降ニハ三回ニ亘リ小數機ヲ以テ泰國內各地ニ  
 進入シ來レリ  
 友軍ノ狀況

第三飛行集團ハ第七、第十飛行團ヲ以テ「ラングーン」ヲ攻  
 撃スベク企圖シ夫々準備ヲ命ゼラル  
 戰隊ハ「ラングーン」攻撃準備ノ爲ニ十二月十九日地上勤務  
 員三十名ヲ「ラヘン」飛行場ニ派遣シ飛行場整備ニ任ゼ

シメ尚十一月三十日飛行場整備指導ノ爲垣見大尉  
名越少尉ヲ先發セシム

空中部隊主力ハ十二月二十日「ラヘン」飛行場ニ躍進シ  
「ラングーン」攻撃ヲ準備ヲ完整ス

一部ハドムアレンニ残置シ防空ニ任ゼシム

二 戦闘ニ影響有ラ及ボシタル天候氣象及飛行場狀況

天候良好ニシテ作戰行動ニ支障ナシ

「ラヘン」飛行場ハ離著陸ニ支障ナキ程度ニ整備シアルモ  
極メテ狭少ニシテ迅速ナル激撃ヲ行動ヲ實施スルヲ得ズ

三、交戦セシ敵ノ編制・装備・素質・戦法

敵機ハ「スピットファイヤー」及「バツファロー」型ニシテ我九七式戦闘機ニ比シ速度及装備（機関砲ニ機関銃四、若ス機関銃ハ）ニ於テ優秀ナルモ旋回性能ハ我ニ劣ル敵操縦者ノ素質ハ一般ニ之程度ナリ戦法ハ分散戦法ニ終始シ團結力ナク且部隊戦闘伎倆拙劣ナリ

#### 四、戦闘経過

其一、第一次攻撃 十一月二十三日

十一月二十五日、飛行團依命甲第五六號ヲ以テ「ラングーン」攻撃ヲ命ゼラル

十飛行團依命申第五六號要旨

十月二十一日  
ドムムアノ

一、飛行團ハ第七飛行團ト協同シ全カヲ以テ明ニ三日一三〇〇

「ミンガラドン」ヲ攻撃チセントス

二、飛行第七十七戦隊ハ主カヲ以テ飛行第三十戦隊ト協

同シ「ミンガラドン」飛行場ヲ攻撃チ空地ニ敵機ヲ索

メテ撃チ滅スベシ

又一部ヲ以テ「ドンムアン」飛行場ノ防空ニ任ジ敵ノ尾

撃チヲ封止スベシ

三、飛行第三十戦隊及飛行第七十七戦隊ノ協同ハ一二四五高

1551

度四々々米ヲ以テ「ラヘ」直上ヲ出發前進スルヲ以テ基  
準トス

ハロカワロ戦隊依命申第三十三號ヲ下達シ空中部隊全  
 カ飛行第三工戦隊ト協同シテ二四五ヲヘン飛行  
 場出發「ラングー」ン攻撃ノタメ勇躍出勤シニカワ  
 「ラングー」ン飛行場上空ニ到達ス

既ニ我が進攻ヲ察知セル敵ハ「スピットファイヤー」及  
 「バッファロー」型戦闘機約二十機ヲ在空中撃滅ニ任  
 シ

我ノ到着ト同時ニ激撃ヲシ來レリ  
 爆撃隊ノ爆撃ヲ實施中其ノ上空掩護ニ勉メツ

挑戦シ來ル敵機ト戦鬪シ隨所ニ敵ヲ撃墜シ  
又一編隊ハ地上ニ在リシ敵中型機ヲ攻撃シ其ノ機ヲ  
撃破シ一三ニ戰鬪離脱一五ヲ迄ニ全機ヲラヘシ  
飛行場ニ歸還ス

本戦鬪ニ於ケル戦隊ノ戦果左ノ如シ

「スピットファイヤ」七機 } 撃墜  
「バツファロー」二機 }

地上ニ在リシ中型二機 撃破

我が方被弾機ナシ



3. 戦後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

我が果敢ナル本攻撃ニ依リ「ラングーン」附近残存  
敵航空兵力ハ小型機數機別ニ「トンゴ」ニ小型  
機十數機トナリ夕刻ニ於ケル司偵ノ偵察結果左  
ノ如シ

1630 トンゴ  
# 中型三

ラングーン  
# 大型五  
1250 中型三  
# 小型五

1710 モールメン  
# ナシ

# イエブ  
# ナシ

# ナシ

戦隊ハ依然「ラヘン」飛行場ニ空中部隊主カラ展開

1995

次期出動ヲ準備シ待機ス  
所見

分散戦法ヲ以テ單機攻撃シ來レル敵ニ對シテモ戰  
鬪原則ニ示ス集結使用ハ絶對的ニ必要アリ



其二 第二次攻撃予 十二月二十五日

攻撃予準備

イ 十二月二十三日ハハハ飛行團依命甲第五八號ヲ以テ第二次

攻撃予準備ヲ命ゼラル

戦隊ハニハハハ戦隊依命甲第三十五號ヲ下達第二次攻撃予

準備ヲ部署ス

ロ 十二月二十四日一五ハハハ飛行團依命甲第五九號ヲ以テ第二次

攻撃予ヲ部署セラル

戦隊ハニハハハ戦隊依命甲第三六號ヲ下達第二次攻撃予

1558

ヲ部署ス

24

0101

十飛行團依命甲第五八號要旨に於てハ  
 本二十三日第七飛行團ト協同シテ實施セルラングーレ攻

撃ヲ至大ノ戰果ヲ收メタリ

集團ハ反覆「ラングーレ」方面ノ英空軍ヲ索メテ攻撃シ  
 之ガ徹底的覆滅ヲ期ス

二飛行團ハ明二十四日殘存敵航空兵カノ所在ヲ確メ明後

二十五日第七飛行團ト協同シ「ラングーレ」「トングーレ」方面ノ

敵航空兵カラ索メテ撃滅セントス

三飛行第三十戰隊飛行第六十二戰隊飛行第七十七戰隊主

0991

カハ明後ニ十五日ノ出勤ヲ準備スベシ  
四、飛行第七七戦隊ノ在「ド」ンムア「ン」部ハ前任務ヲ  
續行スベシ

十飛團依命甲第五九號要旨 十二月二十四日アノヨロ

一、中部緬甸方面ニ於ケル残存英空軍兵力概ネ左ノ如シ

トンゴ— 中型 四機 其ノ他不明

ラング— 中型 二機 大型 三機

バーセイン 敵機ヲ見ズ飛行場擴張中

ラング— 市中ノ對空火器ハ相當熾烈ナリ

二、飛行團ハ明ニ十五日全カラ以テ第七飛行團ト協同シ

一、四ヨロ期シ「ミンガラドン」飛行場ヲ攻撃シ英空軍

ヲ覆滅セントス



三、飛行第七十七戦隊主力ハ明二十五日飛行團爆撃隊ヲ直  
接掩護スベシ

歸還着陸セバ速カニ「ドンムア」ニ轉進シ次期出勤ヲ  
準備スベシ

四、戦闘戦隊、爆撃戦隊ノ同行ハ一ニ四〇〇高度四〇〇米  
ヲハシ直上ヲ奔進スルヲ以テ基準トス

又航進ノ先導ハ戦闘戦隊トス

五、飛行第七十七戦隊ノ在「ドンムア」ノ一部ハ前任務ヲ續行  
スベシ

## 2. 敵状

中部緬甸ニ於ケル殘存英空軍兵力ハ概ネ左ノ如シ

トングー—— 中型四機 其他不明

ラングーン—— 中型十機 大型三機

バセイン—— 敵機ヲ認メズ 飛行場擴張中

南部緬甸方面敵機ヲ見ズ

ラングーン市ノ對空火器ハ相當熾烈ナリ

## 3. 出動

「ラヘン」飛行場ニ於テ待機中ノ戦隊ハ飛行第三十戦  
隊及飛行第六十戦隊直接掩護ノ任務ヲ以テ三四五  
「ラヘン」飛行場出發 爆撃戦隊ノ直接掩護ニ任ジツ  
進攻一三五五「ミンガラド」飛行場上空ニ到達ス  
敵ハ我ガ攻撃ヲ阻止スベク「スピットファイヤー」及「バツファ  
ロ」型戦闘機約二十機ヲ以テ在空中警戒ニ任ジアリ  
我ガ飛行場進入ト共ニ爆撃機及戦闘機ニ挑戦シ來  
レリ  
戦隊ハ爆撃機ノ直接掩護ニ任ジツ、隨所ニ之ヲ

撃墜シ 概ネ一四〇〇戦闘ヲ離脱 歸還ノ途ニ就ク  
歸還ノ途次一四〇〇前後ニ於テ「スピットファイヤ」及「バ  
ツファロー」各一機 追尾攻撃シ來ルヲ以テ第三中隊之ヲ  
又撃チセルモ雲下ニ遁走セリ

斯クシテ爆撃機隊直接掩護任務ヲ完遂シ一五〇〇  
「ラヘン」飛行場ニ歸還若陸ス  
本戦闘ニ於ケル戦果左ノ如シ

バツファロー型戦闘機 確實八機

不確實四機

撃墜

我ガ方 未ダ 歸還セザル者 染谷中尉 三月 木准尉

又 小野軍曹ハ 國境附近ニ 不時著大破セルモ 人員  
無事 在「ケエシマイ」 第十五飛行場大隊ニ 收容

セラレタリ

3. 所見

1. 闘志旺盛ナル 敵戦闘機ニ 對シ 九七戦ヲ以テ 掩護任  
務ヲ 易遂スルニハ 戦闘部隊トシテ 相當苦境ニ 逢着ス

2. 優性能機ニ 對シテハ 歸還時ノ 後方警戒ヲ 持ニ 注シ 必キ

十二月二十五日 戦闘要図

任務

31FR 直接掩護シ「ラングーン」飛行場攻撃

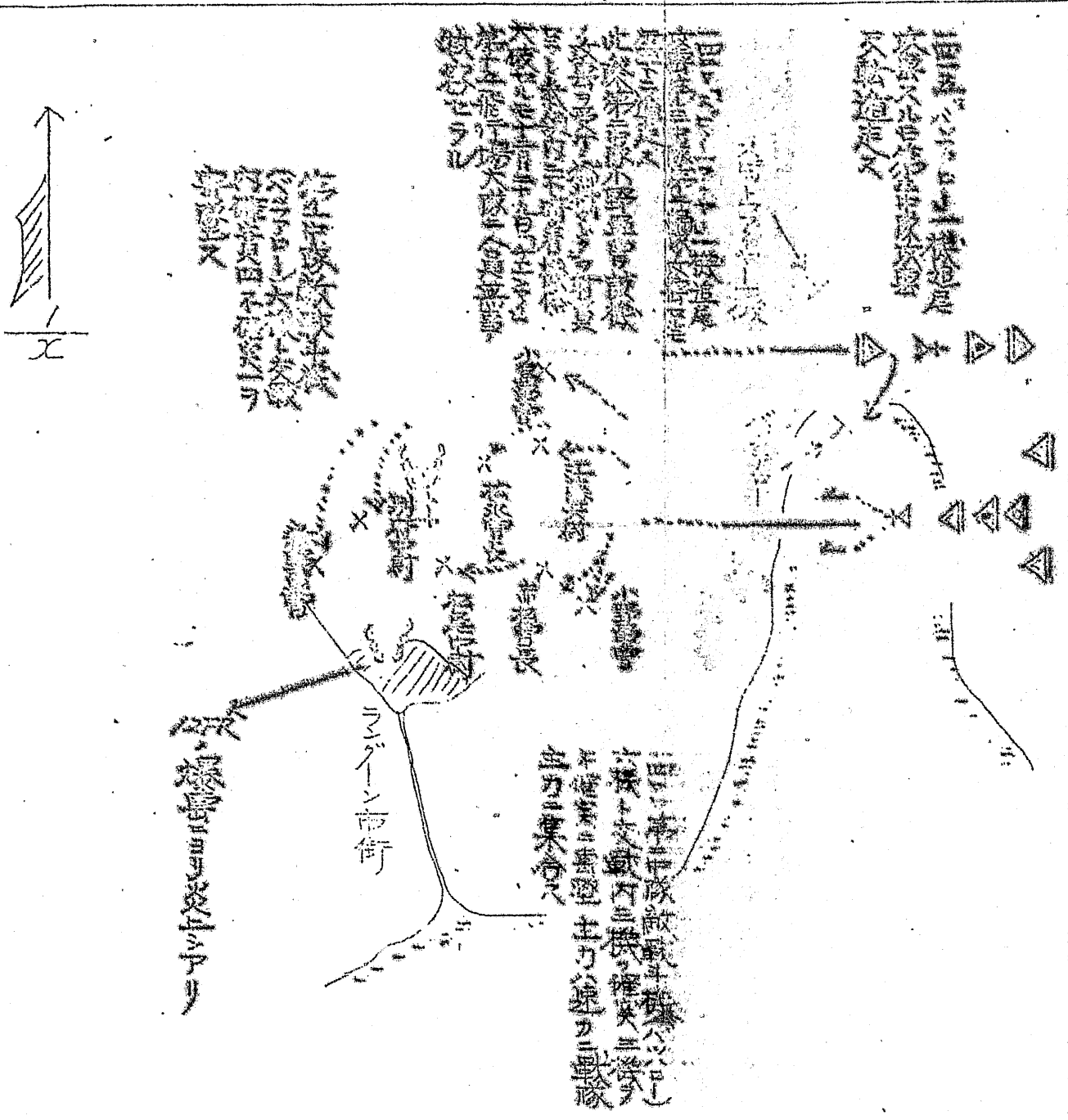
行動概要

三四五ヲヘシ飛行場出發飛行團主カヲ直接掩護シ進攻一三五ヲラングーンに到達任務完遂後一五ニ「ラハ」飛行場ニ歸還セルモ一機不時着ニ機歸還セス

出動機数

本部五機 第一中隊九機 第二中隊九機 第三中隊九機

戦闘經過要圖



戦果

確實八、不確實四 撃墜

損害

未歸還二機 不時着(大破)一機